性質が強く育て易い。鉢植え・ハンギング・寄せ植えなどに。

＜植物名＞

ベゴニア
センパーフローレンス
四季咲きベゴニア

水やり

土の表面が乾いたら水やりをする。但し、冬場は乾かし気味に管理する。

置き場所

日向を好むが、できれば夏は直射日光を避ける。

用土肥料

開花中はリン酸分が多めの肥料を与えると良い。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

種まき・挿木。

冬越し

冬は5℃～10℃以上必要で、室内で育てる。

冬越しと置き場所

日向を好むが、できれば夏の直射日光は避けるようにする。冬は5℃～10℃以上必要で、室内で育てる。

使い方	花壇、鉢植え、寄せ植え、ハンギングバスケット
学名	Begonia Semperflorens-cultorum Group
英名	
属名	シュウカイドウ
科名	シュウカイドウ
性状（分類）	一年草
原産地	ブラジルほか
花の色	赤・赤桃・白
開花期	3月～10月
購入時期	
草丈	20～40 cm

その他の解説

開花中はリン酸分が多めの肥料を与えると、花つきがよくなり長期間楽しめる。花が終わったら切り戻して、次に花をつける新芽を伸ばしてあげる。挿木は容易だが、上の方の枝ではなく、株元のわき芽のある枝を使用する。

特徴１

ベゴニアには膨大な数の園芸品種がある。土の表面が乾いたら水やりをする。但し、冬場は乾かし気味に管理。水のやりすぎは根を傷めるので要注意。

特徴2

ベゴニア属は約２０００種あると言われ、膨大な数の園芸品種があり、茎や根の形態によって木立性、根茎性、球根性の３タイプに分けられる。その中でもベゴニアセンパフローレンスは非常に性質が強く、大変育て易いベゴニア。鉢植え・ハンギング・寄せ植えなどに向いている。非耐寒性。

ID　288

季節　春、夏、秋　　JFコード　14924